

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 438

2025年5月15日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail: info@9jou.jp

減らせ軍事費！壊すな憲法！変えよう政治！

「守ろう！いのちとくらし6・7宮城県民大集会」

戦後80年、被爆80年の今年、いまこそ政治には主権在民、基本的人権の尊重、平和主義を掲げる日本国憲法の理念に立ち返るように強く求めましょう。「減らせ軍事費、壊すな憲法、変えよう政治」の声を市民・県民に大きく響かせ、確かな明日に向けて、手をつなぐ人々の輪を幾重にも広げいきましょう。

日時：2025年6月7日（土）

午後1時半から（雨天決行）

会場：錦町公園

ゲストトーク：青木 理さん（ジャーナリスト）

演題：「自由と平和と人権と 戦後80年、非戦の
憲法を今、改めて私たちの手に」

リレートーク：県内市民運動の皆さんから

デモ行進：集会終了後デモ行進を行います。

主催：守ろう！いのちとくらし6・7宮城県民大集会実行委員会

お問い合わせ・連絡先：080-8206-3511 FAX：022-276-5160

ゲストトーク
自由と平和と人権と
戦後80年、非戦の憲法を今、改めて私たちの手に！
青木 理さん ジャーナリスト
おさむ
【プロフィール】
ジャーナリスト。1966年長野県生まれ。
慶応義塾大学卒。1990年共同通信社入社。その後フリーに。サンデーモーニングなど各種放送局の政治・社会番組でコメンテーターを務める。
ノンフィクションなどの著作も多数。
『日本会議の正体』（学友社新書）『時代の異端者たち』（河出書房新社）
『時代の伝説者たち』（河出書房新社）『安倍三才』（朝日新聞出版）

リレートーク
これぞ！市民運動 県内市民運動の皆さんから

政党挨拶

守ろう！
いのちとくらし
6.7宮城県民大集会
減らせ軍事費！壊すな憲法！変えよう政治！

2025
6月7日【土】13:30～雨天決行
錦町公園 14:45 デモ行進スタート（仙那会館前まで）
送り出しコース 宮城のうたごえの皆さん

主催 守ろう！いのちとくらし6.7宮城県民大集会実行委員会
お問い合わせ TEL 080-8206-3511 FAX 022-276-5160

「大軍拡反対請願全国署名(5/14 現在)

宮城県内9条の会連絡会：63筆 他団体：0筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約：63筆

*全国市民アクションの署名用紙が「税金はくらしの充実に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」新しくなりましたので、4月1日よりカウントが新しくなりました。

*署名ハガキ付チラシの増刷が出来上がりました。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「〇〇市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時チェックするために大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。



宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12時から13時まで。 実施日：5月27日。6月は3日、10、24日。

5月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：5月19日(月) 12:00~13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：5月19日(月) 15:00~16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点

- 涌谷町：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：5月19日（月） 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：5月19日（月） 15:30～ 場所：二木の松交差点
- 仙南九条の会：5月19日（月） 11:00～11:30 場所：川崎町釜房湖畔公園入口

6月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・ 名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・ 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・ 宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・ 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・ 宮城野原九条の会 23日行動：5月23日（金） 13:00～13:30 坂下交差点
- ・ 鶴ヶ谷地域九条の会：5月21日（水）11:00～12:00 鶴ヶ谷生鮮市場前
- ・ 加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランド仙台」前、のぼり旗が目印。

- 毎週月・水・金曜日の7:30～8:15、水曜日14:00～14:30の週4回
“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング
- 水曜日：13:30～14:00 ”ガザへのイスラエル侵攻反対”でスタンディング
- 毎週木曜日 13:30～14:00 ”大軍拡・大増税NO!”でスタンディング

【県内で行われる活動情報】

遠田平和展

2025 年戦後・非戦の誓いから 80 年！

新たな決意！世界から戦争をなくそう！

終戦直前の 8 月 9 日、10 日の両日、宮城県全域に空襲があり大崎地方では 35 人(内、小牛田で 20 人以上)が犠牲になりました。戦争に、良い戦争・悪い戦争の別はありません。身近な「小牛田空襲」から、戦争について考えてみませんか。

開催日：5 月 1 日～5 月 31 日(土)

開催時間：9 時～12 時、13 時～17 時

会場：美里町総合案内所(JR 小牛田駅構内)

展示内容：紙芝居「小牛田空襲読み聞かせ」、旧地図「小牛田空襲の足跡の記録」、パネル「小牛田空襲の実態と被害状況」「ヒロシマ・ナガサキの原爆投下」

参加費：無料(常設展、企画展別途有料)

入場料：無料

主催：遠田地区護憲平和センター

連絡先：090-1062-5755(沖田カツオ)

治安維持法制定 100 年記念企画

「治安維持法」って、何？

治安維持法は 1925 年、普通選挙法(男性のみ)と引き換えに制定された法律。28 年には、天皇の勅令で「死刑」と「目的遂行罪」が加わった。植民地・朝鮮では、独立を求める 54 名に死刑が執行され、日本でも小林多喜二など多数が拷問で獄死した。

日時：5 月 17 日(土) 13:00～15:30(12:30 開場)

会場：仙台弁護士会館 4F ホール

お話1「治安維持法って、何？」

講師：杉山茂雄弁護士(治安維持法同盟顧問)

お話2「布施辰治～生きべくんば民衆とともに／死すべくんば民衆のために」

講師：青木正芳弁護士(中央法律事務所)

お話3「坂 猶興～平和を求め、戦争政策と闘った医師人生・社会活動家」

講師：村口 至さん(坂総合病院名誉院長)

資料代：500円(青年・学生は無料)

主催：国民救援会宮城県本部、自由法曹団宮城支部、日本共産党宮城県委員会、宮城憲法
会議、宮城民医連、治安維持法同盟宮城県本部

連絡先：022-222-6458

戦争を語り継ぐ会

「ドキュメンタリー沖縄戦」上映会～知られざる悲しみの記憶～

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。その凄惨な戦いをほとんどの日本人が知ることなく、80年の年月が経った。本土への疎開のために多くの子どもたちが乗った対馬丸がアメリカの潜水艦によって撃沈され1482人が死亡。嘉数(かかず)高地の戦いでは多くの日本兵、そしてアメリカ兵が戦死。陸軍司令部のあった首里城の攻防。さらには渡嘉敷島で起こった集団強制死。そして摩文仁(まぶに)の丘での牛島司令官の自決。だが、戦いはそこで終わっていない…。沖縄県民の戦没者は122,282人。県民の4人に1人が死亡。そんな戦いはどのようにして始まったのか？ 住民が見つめたものとは何だったのか？ その歴史の記憶を克明に描く。(2020年公開)

監督：太田隆文、ナレーション：宝田明、斉藤とも子。

上映協力：浄土真宗本願寺派仙台別院。

同時開催：「知る沖縄戦」パネル展 ～写真・絵・証言から学ぶ沖縄戦～

展示協力：沖縄平和祈念資料館、沖縄県公文書館、沖縄市、ひめゆり平和祈念資料館、戦場体験放映保存の会(戦場体験史料館)、琉球新報、沖縄タイムス、朝日新聞ほか。

日時：5月17日土～18日(日) 入場無料、5回上映、定員各80人。

上映時間：17日10:00～、12:30～、15:00～、18日10:00～、12:30～

会場：日立システムズホール3階、エッグホール&ギャラリー

主催：泉区良い映画を見る会、婦人民主クラブ宮城県支部協議会、新日本婦人の会泉支部、
泉病院友の会

連絡先：野原 090-6226-2008 nohara@kind.ocn.ne.jp

いのち・愛・平和 うたい続けて28年

仙台合唱団第14回演奏会

日時：5月18日（土）13:30～（13:00開場）

会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

第一部 「星よおまえは」「地球星歌」「死んだ男の残したものは」「その手の中に」「仙台合唱団と共に歌う合唱団」「美らうた」「地球のうた」

第二部 「若星Z☆のステージ」「Take Me Home Country Load」ほか

第三部 「風の伝言」「道化師のソネット」「川の流れのように」「ヨイトマケの唄」「今日の続きが未来になる」

ピアノ：金子まき、南部大地

ゲスト：キャンデイオーケストラ

チケット代：一般1000円、障がい者・介助者500円、中学生以下無料

当日券は満席になり無い場合があります。前売り券、取り置きはメールにて承ります。HP：<https://sendaigassyou.jindofree.com>

後援：（公財）宮城県文化振興財団 （公財）仙台市市民文化事業団

問合せ先：080-1692-4112（事務局）

片平9条の会 春のつどい

被爆体験者のお話しと「宮城県出身の偉人吉野作造と日本国憲法」の講演

片平9条の会は結成されて19年、日本国憲法の理念や価値、特に9条の戦争放棄についての学習や話し合いなど広く参加を呼びかけて開催しています。講演終了後自由討論を行います。

日時：5月18日（日）13:00～16:00

会場：片平市民センター（東北大学正門右斜め向かい）

市営バス、宮城交通バス利用の方は「霊屋橋経由・八木山動物公園行」に乗車し、「東北大学正門前」下車が便利です。

お話し：木村緋紗子さん

（日本原水爆被害者団体協議会代表理事、宮城県原爆被害者の会代表）

演題『原爆被害体験とノーベル平和賞授賞式に参加して』

講演：永澤 汪恭さん（吉野作造通信を発行する会代表）

演題『日本国憲法誕生と宮城ゆかりの人々～吉野作造、鈴木安蔵、鈴木義男』

参加費：無料

主催：片平9条の会

連絡先：犬飼健郎法律事務所 022-262-5525

9条の会東北交流会記念講演

外交で平和を作るとはなにか ～一人ひとりができること～

トランプ米大統領になった今、私たちは世界をどのようにとらえたらいいのでしょうか！
平和が大好き、人権、くらしが大切！

日時：5月24日（土）13:00～16:00

会場：プラザおでって3階ホール（盛岡市中ノ橋通1-1-10）

サテライト会場：フォレスト仙台5階501号室。こちらでも無料で視聴できます。

第一部 記念講演(13:00～14:50)

講演：猿田佐世さん（新外交イニシアチブ代表、弁護士[日本、ニューヨーク州登録]、
立教大学講師他）

第二部 9条の会東北交流会

東北各県から、平和を守るための草の根行動やユニークで真似したくなる9条の会の取り組みを紹介しあいます。

入場無料、どなたでも参加できます。

参加申込：会場参加の場合はお名前、組織・団体名(またはご住所)、電話番号を事務局まで電話、FAX、メールなどでお知らせください。

主催：9条の会東北交流会実行委員会

講演の様子は、YouTubeでライブ配信いたします。

<https://www.youtube.com/live/kWzid231xqE>

問合せ先：みやぎ憲法九条の会 022-728-8812 FAX：022-276-5160

東北女性弁護士9条の会講演会

日本学術会議の会員候補者任命拒否から特殊法人化へ

～科学と政治・軍事の関係を考える～

1948年日本学術会議法によって設置された日本学術会議は、科学者の総意の下に設立された科学者組織として、戦前の深い反省に立って軍事研究に科学者が従事しないことを初志として75年余の活動を積み上げてきました。2020年10月歴史上初めて首相による会員候補者6名の任命拒否が行われ、それをきっかけにいままさに政府による学術会議改革が強行されている。日本学術会議に対する政府の介入について考察する。

日時：5月24日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

会場：仙台弁護士会館4F(仙台市青葉区一番町2-9-18)

講師：廣渡清吾さん(日本学術会議元会長)

入場：無料、予約不要

主催：女性弁護士9条の会

連絡先：佐久間敬子法律事務所 022-267-2288

小島妙子法律事務所 022-225-5108

映画上映会

「教育と愛国」

知って欲しい、教科書で”いま”何が起きているのかを

日時：5月24日(土)13:30~15:30

会場：エルパーク仙台6階ギャラリーホール

参加費：1000円

主催：日本軍「慰安婦問題」の早期解決をめざすみやぎの会

連絡先：仙台中央法律事務所 090-2023-9076

第64回宮城県母親大会 in 青葉講演

「いのちみつめて ~おしばいとおはなし~」

だれもが自分らしく、あなたらしく生きられる平和な社会を。演劇鑑賞運動の中で育ち、今、創る側として熱望すること。「ふるえるような怒りの奥底に、すがるような生命の願いがあった。」

日時：6月15日(日)9:30~16:00

会場：フォレスト仙台

講師：有馬 理恵さん(劇団俳優座代表取締役社長)

参加協力券：1000円 (高校生以下無料)

主催：第64回宮城県母親大会実行委員会・青葉区母親大会実行委員会

連絡先：FAX022-219-2693。909-9531-6933(早坂)

【県内九条の会等の活動報告・情報】

「戦争する国にさせない5・3スタンディングアピール！」

「大軍拡反対、いのちとくらし、憲法9条守れ」のアピール

2022年12月に岸田内閣のもとで決定された安保三文書に基づき、5年間で43兆円もの膨大な予算を費やして進められている敵基地攻撃能力整備、巡航ミサイル購入と沖縄・南西諸島への配備が進行している中、石破首相がトランプ大統領との会談で27年度以降の一層の防衛力整備を約束してきた情勢を受けて、5月3日の「憲法記念日」に午前11時からお昼まで、仙台駅西口ペDESTリアンデッキで「戦争する国にさせない！スタンディングアピール」を県内九条の会連絡会のメンバー約50人が参加して行われました。

前日の雨がうそのように晴れ上がった中、「戦後80年、憲法施行から78年、日本の私たちは戦争の惨禍におびえることなく過ごしてきました。戦後定められた日本国憲法が平和主義を柱とし、戦争放棄・恒久平和を掲げたから」と「憲法9条守れ」、「大軍拡反対、いのちとくらしを守れ」と行き交う市民に訴えました。観光で来仙したと思われる外国人の方々も興味深そうに見ていました。

スタンディング終了後アエルで開催された「5・3憲法を活かす宮城県民集会」に合流しました。集会は「新護憲運動ノススメ」～護憲運動は反戦運動であり、人権擁護運動である」と題して瀨瀨厚さん(山口大学名誉教授 専門は日本近現代政治軍事史・安全保障論)が講演し、「対米従属と防衛費増額、総保守化の進む日本」の現状を批判して「抑止力論は誤解に基づく誤り」であり、「憲法の平和主義で現状変革と非武装の徹底を追及をすべきである」と指摘しました。



アエル5階交流ホール(定員600人)が満席となる参加者でした。

国見九条の会つどい

鈴木淳さんの講演「ひとりぼっちの難民小学生」に再講演のコール

講演のビデオ上映会 6月21日午後2時～4時 於：国見コミュニティセンター

5月10日、国見コミュニティセンターにて2025年国見九条の会つどいが開かれ、会場一杯の82名が参加しました。『ひとりぼっちの難民小学生』の演題で講演された鈴木淳さんの戦争体験談を聞きました。

鈴木さんはお父さんが満洲鉄道の幹部職員で裕福な家庭で育った。小学校（当時は国民学校）6年生の夏休みに両親の許可を得て一人満洲鉄道あじあ号に乗り満洲と朝鮮国境の安東まで旅をした。その時8月15日の天皇の玉音



放送があり日本の敗戦を知った。鉄道は止まり電話も止まり、中国人の暴動が各地で起こった。日本軍の憲兵や警察官が暴動で殺され鴨緑江の橋に吊り下げられる姿を毎日見た。その中をたった一人で家族のいる新京まで500キロを1年間放浪して帰った。その間の体験を振り返り、戦場での日常生活は本当に命がけ、あのような経験は二度としたくない。映画やゲームとはまったく違う。「身の毛もよだつ」恐怖でいっぱいの世界だったと話されました。

そして、憲法9条は日本の侵略戦争の反省の上に立って生まれた。戦後の国際政治は日本・ドイツ・イタリアが行った侵略戦争は二度と許さないという共通認識の上に成り立っている。侵略戦争の反省と決意が国連憲章となり、日本国憲法にも生かされている。侵略戦争の加害者である日本の憲法は「再び戦争する国にはならない」という国民の決意がとりわけ厳しいものになっている。戦後80年、国民のほとんどが戦争を知らない世代になった。だからこそ国民自身が侵略戦争の姿と正しく向き合い、絶対に戦争する国にはならないという日本国憲法の原点をしっかりと学び生かすことが大切になっていると強調しました。

とても良い講演で、戦争体験者が語る憲法第9条の本当の意味、その大切さがぐっと分かる講演でした。

国見小学校区から32名、泉区、太白区、若林区、宮城野区からの参加も含め仙台市内から61名、大崎、大河原、多賀城からも参加があり計82名でした。また秋田で40年前に鈴木淳さんと同じ全損保で組合活動をしてきたという男性や、別な活動で毎週一緒に会議に参加したり一緒に行動をして来たという女性も参加し発言されました。ほとんどの方が、私が顔も知らない人でした。どこから来たのか？この人数は？という有様で、しかも「鈴

木諄さんにもう一回話してもらいたい、今度はもっと時間をとってやってもらいたい」と熱烈なコールが会場から起こりました。そして私も経験がなかったのですが、講演会の後、みんな立ち去らずお互いに話し合っ、中には「やあやあ」と名刺交換したり、次はどこどこで会いましょうとか、初対面どおしが打ち解けて話し合ったりする様子うかがえました。また貝ヶ森の初参加の男性が、国見九条の会の入会申込書に記入して入ってくれました。その方はそれだけでなく機材が必要ならご協力もしますと近づいて来てくれました。「6月21日午後2:00~4:00に今回のビデオ上映会を行います。同じコミュニティセンターの和室で行います。和室には暗幕がないので家庭用テレビでの視聴になります」と文字に書いておいたら、その男性が「暗幕もスクリーンも私が持っていますから貸します」などと好意的な話をするのです。こんな結構な講演会も生まれて初めてでした。

以下は感想文から

「今日の機会を逃したらもう聞くことのできないお話だと思い参加させていただきました。あの混乱の時代に、あの満洲で、12才の少年が想像を絶する体験をなさったのに、よく生き延びて下さったと万感の思いで拝聴いたしました。子どもの存在は何があっても守らなければいけない、それは今も未来も変わらぬことであり、そのためにも日本国憲法は、九条は未来永劫守り続けなければいけないと強く思います。子どもを守れる大人でありたい。憲法のすばらしさ、重要性を伝えられる大人でありたいと思います。少なくとも鈴木様と同じ92才までは努力したいです。」（仙台市内他学区、60代、女性）



(国見九条の会白砂さん報告より抜粋)

* 前回、前々回のニュースで「共催：国見区域の会九条の会、宮城県学習協」と案内しましたが、正しくは「共催：国見九条の会、宮城県学習協」でした。お詫びし訂正します。(Eメールニュース「みやぎの九条」担当)